

【表 - 3 - ( 3 ) - 】研究成果 ( 1 1 )

サブテーマ名：食品タンパク質受容機構と高機能タンパク質の開発 小テーマ名：消化管の食品タンパク質受容機構の解明															
サブテーマリーダー 北大院農 教授 原 博 研究従事者 同上															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 食品タンパク質の消化管上皮粘膜上の受容体解析 研究の独自性・新規性 粘膜細胞における食品成分受容機構の解明 研究の目標 食品タンパク質生体内受容機能を有する成分同定 ( フェーズ テーマ )															達成率 1 0 0 %
研究の進め方及び進捗状況 生体分子間相互作用解析装置を用い、消化管粘膜細胞刷子縁膜から食品タンパク質に結合する成分を分離、その成分の同定を行う。 CCK活性情報伝達系の解析はCCK産生細胞を用いて実施、カルシウムチャンネルの存在を確認。															
主な成果 具体的な成果内容： 受容体そのものがタンパク質であることを確認したが、構造の解明には至らなかった。 特許件数：( 1 )          論文数：0          口頭発表件数：0															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 消化管粘膜上の受容体に関する知見は最近増加しつつあるが、そのメカニズムの解明までは至っていない。 2 実用化に向けた波及効果 食品タンパク質の生理的な役割を評価する手法の構築															
残された課題と対応方針について 合成タンパク質による受容体の検索・単離・同定と情報伝達系の解明															
	J S T 負担分 ( 千円 )							地域負担分 ( 千円 )							合 計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,680	3,680	1,840	9,200	9,200
設備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,000	1,000	1,000
研究費	0	0	0	1,000	1,000	2,000	4,000	0	0	0	3,880	3,880	10,870	18,630	22,630
旅 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	210	210	105	525	525
小 計	0	0	0	1,000	1,000	2,000	4,000	0	0	0	7,770	7,770	13,815	29,355	33,355
代表的な設備名と仕様 [ 既存 ( 事業開始前 ) の設備含む ] J S T 負担による設備： 地域負担による設備：															